

たなをの船

〔和漢船用集舟名數江湖川船〕棚クナフ小の舟 藻鹽草に出たり歌によめりといへども、いまだ證歌を

見ず、上棚の小なる者を云べし、攝州尼崎鳥貝をひさぐ舟などを云べし、

〔嬉遊笑覽器用〕二下へカ舟 羽根田藏國武の海邊の漁舟に、へか舟と呼ものあり、薄板の小舟なり、按る

に難波にへかと呼小車あり、へかはへこといふと、同く、輕細の義と聞ゆ、

〔諸造船式圖〕部賀船

上口凡長四丈四五尺、
横八九尺

巴波川、思川、渡良瀬川通ニ有之、

〔和漢船用集舟名數江湖川船〕一枚イナマイダ榼 是歌によめるたな、し小舟也、平田作にて上棚なき者、通

舟又耕作舟に用、

〔和漢三才圖會船橋〕划船カキボネ 秧場 俗云一枚棚

三才圖會云、划撥進也、其船制短小輕便、易於撥進、故名之、瀬水及灣泊田土之間行、若際水則以鋏掉撥至、或隔陸地、則引纜掣去、如泥中草上、猶爲順快、水陸互用、便於農事、

〔和漢船用集舟名數江湖川船〕三枚榼 同上一枚榼 舟也、武備志に、三板船と云者、舟側二枚、底一枚

也、是三枚船と云べきを、三枚榼と呼來れり、是も棚なし舟也、其制一枚榼とは各別にて、細く狭くして長き者、其長さ四間餘、幅二尺二三寸、一本水押にて横舳也、河州に用て耕作舟とす、

〔伊呂波字類抄利字〕龍頭クキシユ 船名也 〔同計〕鷓首クキシユ 舟名也

〔運歩色葉集景〕鷓首クキシユ 鷓退飛之鳥也、
依之船尾名之

〔易林本節用集利〕龍頭クキシユ 鷓首クキシユ 在リヨウトウクキシユ

〔塵袋三〕一船ニ龍頭鷓首アリ、鷓首ハナニトリゾ、其故如何、